

時代が求めた「女性像」

—「女性像」の変容と変遷—

第Ⅱ期
全15巻

◆監修・解説◆ 岩見照代

前・麗澤大学教授



さまざまな女性の「ライフイベントや服飾・化粧など、これまで個別に扱われてきた側面をトータルにどうえ直し、時代が創り出してきた、女性像の全体に迫る。好評のシリーズ第二弾。

ゆまに
書房
YUMANI SHOBOU

■「時代が求めた『女性像』」 第Ⅱ期・全15巻の収録内容

第Ⅱ期・第一回配本 全7巻

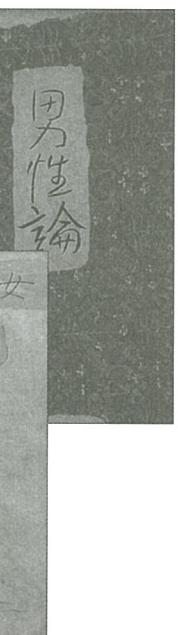
●第十五巻● 時評から見る女性像 1

高賀詠二郎 [著]

現代婦人の研究

一九一六年 日黒書店

【目次から】 一、女子教育の方針／二、良妻賢母主義を非とするを駁す／三、女子高等教育に就いて／四、女學生の本街道／五、中等学校卒業の諸姉に告ぐ／六、婦人職業選択の標準／七、婦人と教師／八、家政科の重んずべきを論じ長岡女学校の創立二十年を賀す／九、女教員問題と其の養成法／一〇、婦人と言葉と／ほか



●第十七巻● 時評から見る女性像 3

新居格 [編] (アンソロジー)

男性論

一九四二年 昭和書房

【目次から】 婦人指導者として男性に対する要望 (吉岡弥生) / 教育者として現代男性の心掛 (木内キヤウ) / 画家として男性を描く (三岸節子) / 音楽家として男性の心遣を (瀧田菊江) / 新劇女優として当今の男性を論ず (水原彩子) / 事務員として職場に見る (立石悦子) / 工員として現場に見る男性達 (津田恵子) / ほか 東京日々新聞文化部 [編]

女性の抗議

一九五〇年 養徳社

【目次から】 第一部 女性の幸福と悲劇—シムボジウム— / 第二部 女性の抗議と回答 (A 恋愛と結婚 / B 家庭の問題 / C 社会・教育・職業)

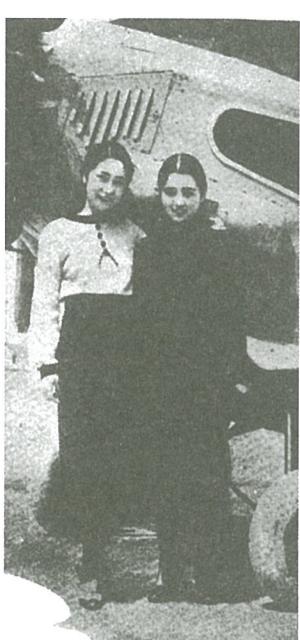
●第十八巻● 戰争と女性 1

松井秀子 [著]

大陸奉仕行

一九四一年 興亜保育協会

【目次から】 一、郷土出発より大陸上陸まで / 郷土出発 / 二、都市の見学と感想 (大連より鐵驪まで) / 上陸第一歩 / 三、青少年義勇隊鐵驪訓練所に於て / 鐵驪に到着す / 四、大日向村開拓団にて / 大日向村へ / 五、大石頭訓練所にて / 薄暮の大石頭駅にて / 六、帰途に上る / 内省 / ほか



●第十九巻● 戰争と女性 2

中田秀夫 [著]

新女性文化 教養篇

一九四三年 国民社

【目次から】 女性の教養 (高橋櫻) / 文学 (藤田徳太郎) / 万葉集を語る (今井邦子) / 若き女性に作歌を勤む (窪田空穂) / 現代女流十人十句 (富安風生) / 明治以降の女流作家とその作品 (森銑三) / 書物の歴史 (斎藤昌三) / 神道 (加藤玄智) / 仏教 (武宮礼一) / 科学 (矢野源一) / 美術 (金原省吾) / ほか



久な治郎の教 / 勿体なや母の感謝 / 軍國の母 / 母性の勝利 / 妻の篇 / 書かざる遺言 / 婦道は易らず / 大空の遺書 / 乙女の篇 / 勇士の妹 / 大陸の花嫁 / 空の乙女たち / 3 女性的航空史 / 気球乗りから飛行機へ / 前大戦と女鳥人 / 盛んなる活躍 / 仏ソの鳥女 / ほか

戦時下に於ける婦人の心構へ

一九四一年 興亜振興社

女性面会日

一九三八年 第一出版社

杉山平助 [著]

●第十六巻● 時評から見る女性像 2

【目次から】 一、恋愛と結婚 / 結婚 / 妻の悩み / 恋愛と結婚は別か / 女は誘惑する? / 一家庭と子供 / 子の生れる日 / 子供と相撲見物 / 子供をかくこと / 学生のリンチ / 一現代と面会日 / 一日本女性の行く道 / 戰時下日本の女性に告ぐ / 戰時日本の小女 / 女性と狂信 / ほか

航空と女性

一九四三年 越後屋書房

中正夫 [著]

戦時下の新結婚

一九四四年 朝日書房

牧晴雄 [編] (アンソロジー)

【目次から】 1 女性的航空学 / 2 航空日本に輝く女性 / 母の篇 / 泣

【主な収録内容】 遺伝病質者が殖えてゆく (大橋政雄) / 一人口は

食する（熊谷憲一）／高過ぎる女の理想（安井洋）／生めよ、殖せよの時代（吉岡弥生）／夫の協同者たれ（山田弁信）／子沢山は大威張（伊藤清）／職業婦人に多い離婚（大森正吾）／妻君は広短型が宜しい（竹内茂代）／共栄園と混血の問題（古屋芳雄）／ほか

●第一十卷●働く女性たち 1

稲村隆一「著」

日本の農村を語る —農村婦人哀史—

一九三一年 先進社

【目次から】 —農村の没落—／没落し行く農村の現実／—村の経済／—農村の横顔（日記の中から）／—村の辻を行く—／川東村を覗る／—農村の民謡—／農民の詩的生活／—農村婦人哀史—／家庭の奴隸としての農村婦人／—日本の農民史—／太古の農民／—農民騒動の英雄を語る—／新井白石の「折たく柴の記」／ほか

（アンソロジー）

婦人公論大学 婦人職業篇

一九三一年 中央公論社

【主な収録内容】 婦人と職業／家庭より街頭へ（金子しげり）／職業婦人の進出（奥むねお）／職業婦人の諸問題（清沢列）／婦人職業戦線／婦人職業戦線の展望（大野縁一郎）／歐米の職業婦人（道家齊一郎）／職業婦人と誘惑（草間八十雄）／職業婦人の衛生（岡田道一）／最近婦人職業案内（木田徹郎）／ほか

第二十一卷●働く女性たち 2

労働省婦人少年局「編」（アンソロジー）

働く婦人の声 一九五〇年 労働省婦人少年局

【目次から】 組合教育活動に就ての反省（吉田操）／私達の組織活動（菊地哲子）／働く婦人の発言について（笛間君子）／健全なる組合活動は如何にあるべきか（広田八重子）／組合運動の促進（山口正栄）／組合活動の促進（斎藤文子）／私たちの力（岩谷国）／ほか

第二十二卷●結婚観から見る女性像 2

大澤一六「著」

貞操の法律

一九三四年 大京社

【目次から】 婦人の貞操とは何か／夫婦縁切りの連れ／出来た子供の始末／内縁の妻・夫／婚姻予約とは何の事だ／貞操料を考へられぬ場合／内縁関係を破棄出来る正当理由／損害賠償させられる場合／貞操躊躇損害賠償の解剖／貞操の相場／結納と言ふもの／瞞した結婚・永い同棲／無茶苦茶な貞操躊躇／ほか

西清子「著」

職業婦人の五十年 一九五五年 日本評論新社

女教員／看護婦／美容師／電話交換手／婦人記者／デパート・ガール／女給／オフィス・ガール／バス・ガール／アナウンサー／時代の波頭

第二二期・第二回配本

全8巻



第二十一卷●結婚観から見る女性像 1

一階堂招久「著」

初夜権

一九二六年 無名出版社

【目次から】 序論／第一章 初夜権の意義／第二章 各国に於ける初夜権の名称／本論／第一章 初夜権の史実／第二章 近代及現代に於ける初夜権の事例／第三章 本邦に於ける初夜権の事例／第四章 初夜権の起源に関する諸家の説並びに其批判／第五章 初夜権の起源に関する吾人の見解／第六章 初夜権の社会的効果／ほか

（アンソロジー）

婦人公論大学 結婚準備篇 一九三一年 中央公論社

【目次から】 婚期に立つ女性へ（土田杏村）／良人の選択（三輪田元道）／恋愛結婚か媒妁結婚か（山田わか）／結婚生活 代記（川村文子）／婚姻の手続／見合から結婚まで（小林珠子）／婚姻の法律手続（片山哲）／結婚準備読本／結婚前の修養（下田次郎）／青春期の生理衛生（吉岡弥生）／異性を見る眼（加藤武雄）／ほか

第二十三卷●結婚観から見る女性像 2

大澤一六「著」

新化粧法・整容医学

早見君子／高橋毅一郎「著」

【目次から】 —新化粧法—（早見君子）／化粧の用意（美容の根

●第一十四卷●結婚観から見る女性像 3

（アンソロジー）

婦人公論大学 結婚篇 一九三一年 中央公論社

【目次から】 結婚の幸福（安部磯雄）／婚姻制度の研究／人類婚姻史（西村真次）／結婚革命と友愛結婚（原田実）／日本の家族制度の特質（戸田貞參）／結婚と法律（栗生武夫）／現代結婚の諸問題／離婚問題（中川善之助）／貞操問題（市川源參）／未亡人の問題（三宅やす子）／早婚が晚婚か（正木不如丘）／ほか

中川善之助「著」

婚姻と離婚

一九五〇年 宝文館

【目次から】 —婚姻小史—／—離婚小史—／三姦通と重婚／四離婚法の変遷／五性の法律問題

（アンソロジー）

純真なる肉体美と美容術

一九二五年 河野出版社

【目次から】 第一章 女性観／女性の本文／美は女の生命なり／第二章 女性と化粧／化粧の必要／愛の根本は美なり／第三章 美顔術／美顔術の効能／お顔の掃除／第四章 婦人と髪／髪の手入れ結び／如何にして髪を養ふか／第五章 美容術／容姿を美しくするには／容姿を整へる為めに瘦せるには／ほか

河野千代子「著」



源）／外部的用意／顔面マッサージ（美顔術）／化粧法／化粧の下地／化粧の仕方／顔色に依る化粧法／顔の型と化粧法／鼻の形と化粧法／—整容医学—（高橋毅一郎）／ぬけ毛／ふけ／裂け毛・切れ毛／深毛／白髪／顔のぼつ／顔の荒れ／ほか

（アンソロジー）

婦人公論大学 美容科学篇 一九三一年 中央公論社

【主な収録内容】美人の変遷（鎌木清方）／—美容医学—／美容医学の一般知識（高城六梅）／鼻と耳の整形美容（西崎豊寛）／眼の整形美容（内田孝藏）／歯の整形美容（飯塚喜四郎）／—美容法の研究—／和風結髪（佐藤秋子）／洋風結髪（メイ牛山）／和装向化粧（早見君子）／洋装向化粧（大場静子）／ほか



●第一二十六巻 ● 美しくなるには 2

田中千代「著」

新洋装読本

一九三六年 南光社

【目次から】第一章 洋裁に於ける私の行き方／第二章 洋装の流行／第三章 ファッションブックの使ひ方／第四章 配色の仕方／第五章 デザインをする人のために／第六章 仮縫の仕方／第七章 布地の種類とその扱ひ方／第八章 洋装の主なる名称／第九章 是非心得ておきたい洋装の礼儀

（アンソロジー）

一九三八年 双雅房

●第一二十七巻 ● 時代を映す「女性像」 1

雄山閣編輯局「編」（アンソロジー）

日本女性史

一九三五年 雄山閣

【目次から】女権発達史概観（尾佐竹猛）／思想上より見たる日本

小田静子「著」

女性美の教養

一九四二年 人文閣

【目次から】序（高島平三郎・高良富子）／自序に代へて／大東亜戦争と婦人整容／婦人美容の新体制／近代女性と美容／非常時と美容／非常時の婦人美容と教育の関係／正しい婦人美の創造／婦人美容雑記／明日の美容建設への前進／ほか

齊藤久子「著」

●第一二十八巻 ● 時代を映す「女性像」 2

三宅やす子「著」

真実に歩む

一九三〇年 広文社

【目次から】わが恋愛觀／日本の女性と友愛結婚／機械的貞操觀時代／性の問題／産児制限公認可否／婦人参政権問題の過去と将来／婦人界時感／婦人の生活力／偶感／女性の万引に対する男子側からの推理／婦人の話題／小説と女性との関係／嘘と眞実／仏教／未婚の婦人へ／机の思ひ出／髪の魅力／訪問服の意匠に就いて／ほか

山野鞠子「著」

すみれ 山野鞠子遺稿集

一九三四年 山野千枝子美容研究所

【目次から】序文（河崎亭子・西村伊作）／作文集／日記集／手紙集／鞠子を忍ぶ（山野千枝子）／鞠子の終焉（山野未松）／亡き鞠子に／級友鞠子さん（同慈生）／弔詞、御花環贈呈者御芳名一周忌を迎へて

玉城肇「著」

日本女性史

一九四八年 雄鶴社

【目次から】まえがき／一 血縁婚時代／二 半血縁婚時代／三 母權と母系／四 氏族社会／五 万葉時代の婚姻／六 律令の制定と女性的地位／七 平安朝時代／八 武家時代／九 足利時代より戦国時代まで／一〇 德川時代／一一 明治時代／参考書について

矢崎弾「著」

近代日本文学より見たる女性観

一九四八年 日本出版

【目次から】木綿（鎌木清方）／ゆかた（鎌木清方）／キモノ（坪内士行）／秋・女・服飾（鈴木善太郎）／あき・まんご（岩田専太郎）／着物の話（東郷青児）／花の美・肌の美・服装の美（戸川秋骨）／初夏と女性（川路柳虹）／男帯（宮川曼魚）／ほか

女性（本多辰次郎）／男尊女卑の思想（杉森孝次郎）／我国の女卑思想（下村海南）／政治問題として見たる日本女性（蟬山政道）／日本婦人の社会的地位（今井時郎）／武家社会と女性（橋本実）／家庭人として生きた近世武家の婦人（中村孝也）／ほか

女性綱領

一九四〇年 白揚社

【目次から】序文（石井満・赤木健介）／著者のことば／女らしさの考へ方／服装のことなど／職業婦人のこと／或る日の日記／女性と会話術／心にかかる雲／読書と私／まじめなもの／大陸のお友達から／或る友達の話／父と私／父への手紙／或る女流画家の個展で／欠食兒童及学校給食といふことについて／ほか



●第一二十九巻 ● 時代を映す「女性像」 3

玉城肇「著」

日本女性史

一九四八年 雄鶴社

【目次から】序章 回顧（女性史の誕生）／第一章 伝統の悩みから解放へ（明治期）／黎明期の苦悩・自己形成への歩み・明治女性の環境と輿論／第二章 解放の悲劇から生活愛へ（大正期）／教養の悲劇・生活の慧智と悦び・解放された犠牲／第三章 働く慧智と新世代の創造（昭和期）／愛情の流浪から眞実へ・歴史の発展と愛の拡充・現代女性の発展と歴史への愛）／ほか

刊行にあたつて

岩見照代
前麗澤大学教授

本書の特色

◆戦前期(大正15年)から

戦中・戦後(昭和30年)まで

シリーズ第Ⅰ期『時代が求めた「女性像』は、大正、戦中、戦後の激動期を生きた女性たちの恋愛・結婚、そして妻・主婦・母になるといったライフイベントに則した言説を中心に収集した。その際、ファッショングや美容にまで目配りし、どのように「女の身体」が表象され、作られてきたかを、総合的に考えることのできるシリーズとして構成した。さいわい、企画は好評を以て迎えられた。第Ⅱ期目となる今回は、「昭和」前期から戦中・戦後の書籍を中心に集成した。一九二五(大正一五・昭和元)年から一九五五(昭和三〇)年という短期間のものだが、収録された多様な論を戦前・戦後で比較検討することで、激動の時代の女性観の変貌が、かえって見て取りやすくなつたはずである。例外は、一九一六(大正五)年刊行の『現代婦人の研究』だが、これは大正期の女性像を包括的に照射するものとして、あえて第一巻目に配した。

また、今回の新しい試みは、新聞や雑誌の時評を集めた論を採録したことである。多くの読者を獲得しているジャーナリズムで、女性から男性への切実な「要望」や「抗議」は、具体的な表現を通して、「女」という規制の装置が、どのように「読者」に浸透していくのかを考えていく上での一助となるはずである。このように本シリーズは、前回より一層、「日常生活」に寄り添うミクロ的視点をとりこみ、「時代が求めた「女性像」」がどのように作られてゆくのか、または「時代が求めるかのように」、「女」たちに思わせるのか、様々な戦略の中で作り出されてくる「女性像」を、具体的に考え直すことのできるシリーズとして、活用していただければ幸いである。

◆ジヤーナリズムの論も掲載

女性から男性への、切実な要望や、生の声を読み取ることが出来る、新聞や雑誌の時評を集めた論をも収録。

◆より一層、日常生活における女性像を読み取る

「戦時下」、そして「戦後」の激動の時代は、女性にどのような「妻・母・娘」像を求めたのか。また、女性たちはそれをどのように内面化していったのか。より一層、日常生活における女性像が読み取れる論や記事を収録。

◆詳細な解説を附す

各巻に解題、最終巻には、監修者による総解説を附す。

時代が求めた「女性像」第Ⅱ期・全15巻

—「女性像」の変容と変遷—

[監修・解説] 岩見照代 前・麗澤大学教授

A5判上製／クロス装

全15巻●揃定価：本体323,000円+税 ISBN978-4-8433-3804-9 C3336

第1回配本 全7巻

2013年11月刊行予定

全7巻●揃定価：本体146,000円+税

ISBN978-4-8433-3805-6 C3336

■第15巻■ 時評から見る女性像 1

定価：本体21,000円+税 ISBN978-4-8433-3807-0 C3336

■第16巻■ 時評から見る女性像 2

定価：本体16,000円+税 ISBN978-4-8433-3808-7 C3336

■第17巻■ 時評から見る女性像 3

定価：本体18,000円+税 ISBN978-4-8433-3809-4 C3336

■第18巻■ 戦争と女性 1

定価：本体22,000円+税 ISBN978-4-8433-3810-0 C3336

■第19巻■ 戦争と女性 2

定価：本体22,000円+税 ISBN978-4-8433-3811-7 C3336

■第20巻■ 働く女性たち 1

定価：本体27,000円+税 ISBN978-4-8433-3812-4 C3336

■第21巻■ 働く女性たち 2

定価：本体20,000円+税 ISBN978-4-8433-3813-1 C3336

第2回配本 全8巻

2014年2月刊行予定

全8巻●揃定価：本体177,000円+税

ISBN978-4-8433-3806-3 C3336

■第22巻■ 結婚観から見る女性像 1

定価：本体22,000円+税 ISBN978-4-8433-3814-8 C3336

■第23巻■ 結婚観から見る女性像 2

定価：本体19,000円+税 ISBN978-4-8433-3815-5 C3336

■第24巻■ 結婚観から見る女性像 3

定価：本体20,000円+税 ISBN978-4-8433-3816-2 C3336

■第25巻■ 美しくなるには 1

定価：本体24,000円+税 ISBN978-4-8433-3817-9 C3336

■第26巻■ 美しくなるには 2

定価：本体28,000円+税 ISBN978-4-8433-3818-6 C3336

■第27巻■ 時代を映す「女性像」 1

定価：本体18,000円+税 ISBN978-4-8433-3819-3 C3336

■第28巻■ 時代を映す「女性像」 2

定価：本体25,000円+税 ISBN978-4-8433-3820-9 C3336

■第29巻■ 時代を映す「女性像」 3・総解説

定価：本体21,000円+税 ISBN978-4-8433-3821-6 C3336

★関連企画のご案内

※価格は外税。詳細な内容見本がございます。弊社営業部宛て請求下さい。

時代が求めた「女性像」

第Ⅰ期・全14巻

—大正・戦中・戦後にみる「女の一生」—

[監修・解説] 岩見照代

全14巻●揃定価：本体271,800円+税

■第1巻■ 「新しい女」へのリアクション

定価：本体15,800円+税

■第8巻■ 女子の修養 2

定価：本体20,000円+税

■第2巻■ 戦後女性の出発

定価：本体21,000円+税

■第9巻■ 女の美容 1

定価：本体19,000円+税

■第3巻■ 妻となる 1

定価：本体16,000円+税

■第10巻■ 女の美容 2

定価：本体24,000円+税

■第4巻■ 妻となる 2

定価：本体17,000円+税

■第11巻■ 働く女性 1

定価：本体12,000円+税

■第5巻■ 家庭を作る 1

定価：本体29,000円+税

■第12巻■ 働く女性 2

定価：本体21,000円+税

■第6巻■ 家庭を作る 2

定価：本体26,000円+税

■第13巻■ 働く女性 3

定価：本体18,000円+税

■第7巻■ 女子の修養 1

定価：本体19,000円+税

■第14巻■ 働く女性 4・総解説

定価：本体14,000円+税

近代日本のセクシュアリティ

全35巻●揃定価：本体541,000円+税

〈性〉をめぐる言説の

変遷（[編] 斎藤光・全6巻）／女性の描かれ方にみるセクシュアリティ I

（[編] 岩見照代・全6巻）／思想・文学にみるセクシュアリティ（[編] 鈴木貞美・全6巻）／風俗からみるセクシュアリティ（[編] 井上章一・全5巻）／女性の描かれ方にみるセクシュアリティ II（[編] 与那霸恵子・岩見照代・全6巻）／同性愛言説・性教育からみるセクシュアリティ（[編] 古川誠・全6巻）



〒101-0047

東京都千代田区内神田2-7-6

TEL. 03(5296)0491

FAX. 03(5296)0493

<http://www.yumani.co.jp/>

e-mail eigyou@yumani.co.jp

おすすめ
したい方

女性学を中心に、人権論、社会学、近現代史、政治思想、社会思想などの研究者、大学・公共図書館、女性センターなど。

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493

年 月 日

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。

時代が求めた「女性像」 第Ⅱ期・第1回 全7巻

セット

時代が求めた「女性像」 第Ⅱ期・第2回 全8巻

セット

●揃定価：本体146,000円+税 ISBN978-4-8433-3805-6 C3336

●揃定価：本体177,000円+税 ISBN978-4-8433-3806-3 C3336

取扱店

13.08/01.7000.FR

ご注文書

お名前

ご住所

TEL ()

* 収録内容変更のお知らせ

日頃、小社出版物につきまして、多大な御理解を賜り、誠にありがとうございます。

時代が求めた女性像第Ⅱ期、第29巻「時代を映す女性像3」は、

玉城肇『日本女性史』（一九四八年、雄鶴社）

矢崎弾『近代日本文学より見たる女性観』（一九四八年、日本出版）

を収録する予定でおりましたが、諸般の事情により変更し、以下の資料を収録いたしました。

三宅やす子・編『八つの泉』（一九二三年 災害救済婦人団）

『モダンてほどき』（『婦人公論』第一七巻第四号附録 一九三二年 中央公論社）

『婦人の運命と月経』（『婦人公論』第一八巻第一号附録 一九三三年 中央公論社）

『月経調査報告書』（『婦人公論』第一九巻第四号附録、一九三四年 中央公論社）

『婦人の就職案内』（『婦人俱楽部』第三四巻第一三号附録、一九五三年 講談社）